

発行日
平成27年
(2015)
6月1日

第92号

熟年

じゆく ねん

編集発行
姫路市老人クラブ連合会
(姫路市生涯クラブ)
〒670-0943
姫路市市之郷1006番地8
姫路市すこやかセンター内
TEL (079) 223-6855
FAX (079) 223-6128



ホームページ開設

姫路市老人クラブ連合会

副会長 中井満明



事務局を中心として企画立案を進めてまいりましたが、五月末に開設の運びとなりました。

会員の皆さまにも閲覧いただき、ご意見をいただながら、よりよい充実した内容で事業活動のPRが出来れば幸いです。

また、**会員外の団塊世代の「パソコン」力に閲覧を願**い、老人クラブの運営・活動に理解と興味を抱いてもらえればと期待もしております。

今後益々、高齢化が進みますが老人クラブへの入会者は相反して減少しており、入会を勧めても「まだ早い」「役が付いて来る」「かわりを持ちたくない」等々で、老後は個々に自由な余生を送りたいとの傾向にあるようです。

この流れは自治会を含め各地域諸団体の役員不足が深刻化しているようです。今後の地域社会活動安定化のためにも、仲間との絆がしっかりと結ばれた老人クラブや婦人会のような既存の団体組織が協調し次世代につながる活動が続ける事が、私たちの責務と受け止めて前進しようではありませんか。

さる、五月三日の「お城まつり」総踊りに「姫路市老人クラブ」のネーム入り黄色の法被を着用した女性部主体の会員一八〇人が参加、華麗な老人パワーを発揮しPRに一翼を担ってくれました。参加者の皆様お疲れ様でした。

大会

五月十九日(木)
市民会館大ホール

本年度の姫路市老人クラブ連合会大会は、石見利勝姫路市長、松葉正晴市議会議長を始め、各界のご来賓を迎えて盛大に行われました。

第一部の式典では、国歌斉唱、物故者への黙祷、主催者の奥西良行会長挨拶に始まり、生涯現役活動優秀団体表彰、永年勤続勇退者への感謝状贈呈と続き、さらに市長、市議会議長祝辞、祝電披露を頂戴して終わりました。

第二部は、姫路市副市長 飯島義雄氏（河合寸翁の歴史に学び「連携中枢都市構想」で人口減少時代を切り開く）の講演に続き、生涯現役大賞を受賞された、曾左校区東坂老人クラブ「老人福祉施設へ慰問活動を続けている」の事例発表がありました。

次いで連合会事務局から、先の理事会で承認された各事項の報告が行われ、すべての日程を無事に終えることが出来ました。



新年度役員

○常任理事・理事・監事は新任のみ

会長 (留)
副会長 (留)
同 (留)
同 (留)
同 (留)
同 (留)

常任理事
春名正 (男中部第二)
梅澤昭子 (中部第二)
桂濱七郎 (東部)
長濱正宏 (灘)
松井静子 (灘)
平居久幸 (畑)
中村ツヤ子 (畑)
大谷直美 (北部第二)
村上源七 (北部第二)
上月義弘 (香寺)

常任理事
穴見美恵子 (香寺)
干谷雅文 (谷外)
三木雅義 (八木)
駒井弘隆 (畑)
合田敏實 (網干)
藪内敏之 (余部)
小野弘晴 (水上)
寺野洋一 (水堀)

監事
黒塚正幸 (高浜)
上原義弘 (香寺)
福山恵裕 (中寺)
藤原太平 (山之内)
清水正文 (安室)
中村勲 (城津)
白井正敏 (船堀)
的野守明 (砥堀)
寺野洋一 (水堀)

感謝状贈呈者

常任理事

北山良忍 (城陽)
滝本隆信 (中寺)
上野京子 (畑)
橋本信一 (畑)
田路信一 (畑)
金澤岩雄 (砥堀)
大場一彦 (網干)
藤田好明 (余部)
金田安寛 (香呂南)

理事

元常任理事
三上英長 (五増位)
松本知恵子 (船場)
椎木一彦 (高岡西)
浅見昭和 (谷外)
辻元昭和 (谷外)
山本延孝 (御国野)
和田博文 (飾磨東)

元理事

クラブ会長

和山博文 (飾磨東)

クラブ会長

松本三郎 (南大津)
山本岩男 (網干)
三井利夫 (網干)
吉田禎夫 (白鳥)
三村博林 (田上)
山田俊夫 (水堀)
豊国大 (中寺)
塩本邦夫 (香寺)
花畑昌克 (香寺)

教養講師
饒コーエ講師

平成二十七年 姫路市政記念式
での市民表彰受賞の方

市老連会長

理事

奥西良行
大西哲朗 (野里)



兵庫県立大学
環境人間学部
教授
内田 勇 人氏

『世代間交流と健康づくり』
平成二十七年四月二十四日(市民会館)

姫路市
高齢者教養講座

◆生涯現役賞(3クラブ)
四郷校区 上鈴生涯クラブA
広畑校区 下河原老人クラブ
安室東校区 辻井老人クラブA・B



◆生涯現役大賞(1クラブ)
曾左校区 東坂老人クラブ

平成二十七年年度
**生涯現役
優秀団体表彰**



平成26年度 愛の募金収支決算書

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	金 額	摘 要
校 区 募 金 総 額	3,724,783	71校区
雑 収 入	4,215	利息
一般会計より繰入金	750,000	市助成金
前年度繰越金	1,631,285	
収 入 合 計	6,110,283	

〈支出の部〉

項 目	金 額	摘 要
地域福祉 災害見舞金給付(火災)	30,000	1件
支援活動 友愛訪問品作り	90,614	
ねたきり会員訪問	364,390	272名
独居会員訪問	1,693,716	1,403名
研修 シルバーヘルパー 地域支援活動費	1,555,801	1,645名(各ブロック)
実行委員会	79,110	6回
事業費合計	3,813,631	
消耗品費	30,302	事務用品
通信費	82,400	
印刷費	84,240	募金の依頼趣意書
雑費	328,800	
事務費合計	525,742	
予備費	500,000	丹波市豪雨災害義援金
支 出 合 計	4,839,373	

次期繰越金 1,270,910円

〈基 金〉

項 目	金 額	摘 要
基 金	44,500,000	(平成27年3月31日現在)

一 般 会 計 報 告

(単位:円)

平成26年度 収入・支出決算表				平成27年度 収入・支出予算表			
収 入 の 部				収 入 の 部			
会 費	9,302,220	会 費	9,540,000	補 助 金	14,800,000	補 助 金	14,800,000
補助金	15,653,110	寄 附 金	1,000	寄 附 金	6,495,000	委 託 費	6,495,000
寄 附 金	0	雑 収 入	21,211	雑 収 入	31,000	繰 越 金	1,840,809
委託費	5,386,500	繰 越 金	1,645,616	合 計	32,008,657	合 計	32,707,809
雑 収 入	21,211						
繰 越 金	1,645,616						
合 計	32,008,657						
支 出 の 部				支 出 の 部			
会 議 費	377,706	会 議 費	410,000	諸 給	6,970,320	諸 給	6,970,000
諸 給	6,970,320	費 用 弁 償	1,300,000	費 用 弁 償	1,266,340	旅 費	180,000
費用弁償	1,266,340	旅 費	180,000	需用費	1,290,718	需用費	1,440,000
旅 費	178,060	諸 費	345,000	諸 費	251,916	大 会 費	600,000
需用費	1,290,718	大 会 費	555,957	慶 祝 費	1,034,987	慶 祝 費	1,150,000
諸 費	251,916	慶 祝 費	1,034,987	教 養 文 化 費	3,327,565	教 養 文 化 費	3,687,000
大会費	555,957	教 養 文 化 費	3,327,565	地 域 活 動 費	4,700,599	地 域 活 動 費	3,910,000
慶祝費	1,034,987	地 域 活 動 費	4,700,599	研 修 費	1,602,178	研 修 費	1,730,000
教養文化費	3,327,565	研 修 費	1,602,178	広 報 費	2,668,396	広 報 費	2,700,000
地域活動費	4,700,599	広 報 費	2,668,396	調 査 費	28,259	調 査 費	30,000
研修費	1,602,178	調 査 費	28,259	健 康 増 進 費	4,664,847	健 康 増 進 費	4,908,000
広報費	2,668,396	健 康 増 進 費	4,664,847	繰 出 金	750,000	繰 出 金	750,000
調査費	28,259	繰 出 金	750,000	積 立 金	500,000	積 立 金	500,000
健康増進費	4,664,847	積 立 金	500,000	予 備 費	0	予 備 費	2,097,809
繰 出 金	750,000	予 備 費	0	支 出 合 計	30,167,848	支 出 合 計	32,707,809
積 立 金	500,000						
予 備 費	0						
支 出 合 計	30,167,848						

次期繰越金 1,840,809円

活動報告

四軒屋

カラオケ同好会

安室校区 山添賢一

四軒屋生涯クラブ発足当初に産声をあげた「カラオケ同好会」です。地域自慢の存在で、井戸端会議ではいつの間にか話題の中心になると言うほどです。会員の年齢は七十歳から九十歳まで、平均すれば八十二歳になります。年齢に関係なく毎週金曜日には童心に返り唄っています。



うまくなるうというより、下手な自分だが皆と一緒に楽しく唄うことです。また歌の仲間と「オシャベリ」するのも楽しみにしており一層の親近感が増します。大声をだして唄いますと、悩み事や体調不良など一掃できる喜びがあります。中には声を出しづらい方も同好会の雰囲気です、いつの間にか唄っています。

休憩タイムには、茶話会で一段と話はずみ、これが老人クラブが求める親睦であると思います。ナツメロ・童謡・歌謡曲など多種多様で会員が求めるジャンルもおまかせ!!

休

町内清掃と公園管理

城北校区 岩田吉弘

私たち城北本町老人クラブは、市老人クラブ連合会の活動目的をベースに、平成十三年度より地域の清掃美化活動に取組んでまいりました。地域の幹線道路の清掃は元より町内の道路を重点に排水溝のごみ、除草の作業など老人パワーで活動しております。

また、広嶺中学校の登・下校の通学道路にあたり学生諸君の地域への環境美化に参加する姿勢へのアピールになり、老若男女すべての人が世

代をこえて、環境美化に貢献してまいりました。

公園の花壇や砂場の手入れ、遊具施設の目視点検などを実施して、子供たちが「安全安心」で遊べる環境づくりを行い、若いお母さん達とのコミュニケーションを楽しみ、老人クラブ会員の健康増進にもつながっております。

ふれあい歩こう会

広畑校区 玄海弘子

毎月、第二と第四日曜日の午前九時に広畑公民館に集まって、ラジオ体操から始まります。そして南田会長の挨拶と歩くコースの説明を受けます。

歩くコースは夢前川の河川公園内を片道六キロで、時間にして六十分程度になります。素晴らしい景色を見ながら歩き、途中で休憩を取り、会員から地域の話題で盛り上がり、見知らぬ人とすれ違った時も挨拶を交わし親密感を広げております。

平成二十六年十二月に三十回を達成し全員で喜び「乾杯」です。この評判が広まり参加者が二十五名となり、児童も参加してくれるようになります。

りました。

昨年は「たつの市」と「宍粟市」のコースに挑戦しました。歩こう会は「青い帽子」がPRです。



主張・随想

「いきいき食事会」に入会して

勝原校区 牧末治

私は、定年退職前からしていた妻の介護が近年で終わり、たっぷりな自由時間が出来た。

或る日、老人会行事で料理の先生

から地域で「いきいき食事会があるがどうですか。」と奨められた。そしていざ入会したのはものの、若い頃にしたい料理の体験は少しだけあるが、何十年も前の時を思い出すにはなかなか……。少しずつ思い出し思い出しの今日この頃である。

調理の手順、量、そして大きさなど、まわりには元氣な経験豊富なベテラン揃いのオバアチャン達と、その中での男衆。手違い、失敗は少々あるがだんだんと調理され、盛り付けが進み配膳へ。その出来映えを觀賞しじつくり味わう。バンザイと心の中で叫び……が出そうになる。

次回の予定が黒板に書かれる。さてどのような料理か？ うまく出来るか？ 少し心配し気にもなり、ひよっとしてこれが刺激の材料かな。

「ハラハラの包丁さばきは

満足したる盛り付け馳走」

友人

網干西校区 重永成子

高校時代の友人のひとり、彼女は病氣のため六十三才で生涯を閉じました。病に冒された彼女は苦悩と不

安の中で前向きに病と向き合っていました。日々のたわいないおしゃべりにも治療の事、ホスピス、かさむ医療費、緩和ケア、在宅介護など現在の医療の進歩と弱点を垣間見た思いでした。元氣な頃には講師を自宅に招き二人でパソコンを習い、紅葉ドライブ、食事会、「今、調子いいからプチ旅行オッケーよ」と出かけたが、たくさんのおいしさを共有する事ができませんでした。それを同時に泣き虫の私は思い出を封印してきました。

お葬式で、御主人は「妻は刺繍と料理が大好きなやさしい人で、自分のことより家族のことを一番に考える人だった。」と挨拶されました。胸が詰まりました。

「花燃ゆ」―古里を思う！

香呂校区 木村 進

今年のNHK大河ドラマは、山口県萩市を舞台に幕末〜明治維新の「杉文」と寅次郎（のちの吉田松陰）の物語である。近代国家の歩みがまさにここから始まった様です。

昨年九月、「城めぐり」で萩や山口、防府を訪ねました。いずれの街並みも歴史が有り、観光客が多く、とても賑わっています。



私は広島県呉市に生まれ、父の郷里、山口県柳井村（現 山口市）に三才から十四才半ばまで住みました。小学校から中学二年まで地元の学校へ沢山の同級生や先輩と通いました。それは大変な田舎で、今では若者がほとんどいない「限界集落」になっています。

古里を離れて五十有余年、育った古里を八年前に訪ねました。あいにく親戚の方も亡くなり、友人にも会えませんでした。

テレビドラマを見る度に、遠い山口の「少年時代」に友と野山を駆け回った風景が昨日の様に思い出されます。まさに「古里は遠きに有ると思うもの」ですね。

ウドン・ソバの食べ方

増位校区 高田 幸治

皆さんは、ウドン・ソバを食べる時、箸でウドン等をすくって一気に口に運び、ズルズルと音をたて口の中に入れて一気に胃の中に流し込む方法をとっておられると思います。テレビで見たのですが、行列になる店でタレントも同じようにして食べていますね。私はこの流し込む音があまり好きではありません。小さい時に母がお茶漬や御飯に味噌汁をかけて食べているのを見て、父が「かまないで流し込む」と文句を言っていたことが影響しているのかもわかりません。

前職の時に、犯罪被害者の司法解剖の立合いをしました。その際、解剖医が死亡推定時刻を決める時、胃の内容物の消化状況を調べますが、その時にウドン・ソバが未消化で残っています。本来粉物を加工したものは、最も消化がよい筈ですが、かまないで流し込むために未消化で残るのだと思います。胃腸は第二の心臓と言われていると。よくかみ唾液と混ぜて食べることが健康の秘訣だと思えます。

短歌

熟年歌壇 — 投稿

満開の枝垂れ桜のあわいより
コバルトブルーの海が広がる
家 島 塩澤 文字
古文書にきぎすの里と記されし
市川の岸を雉子の飛び立つ
城 陽 黒田 昭代
しらさが栖となせる小さき丘
みどりの木々は夕べのアート
城 翼 谷 文字
早朝を赤トンボの曲流しつつ
島巡りゆくゴミ収集車
家 島 大野イト子
蜘蛛の巣の蜘蛛の営み見ておりぬ
振り上げたる箒下ろせずにいる
野 里 綿貫 澄子
薬害のなしと思はねど八種類
いずれ抜きてもならぬ常用薬
勝 原 荒堀 治雄
二万匹送りましたとメールあり
尾頭つきのちりめん旨いよ
家 島 芝原美恵子
ぽんぽんと白木蓮咲けり火の上の
鍋にはじけるコーンのように
津 田 後藤 敦子
華麗なる祝福飛行のインパルス
輝き増したる白鷺の城
花 田 安部 實

川岸に芽吹く柳は朝の日に
輝きながらみどり濃くする
御国野 榮川 米子
どくだみの白き小花が盛りなり
煎じ飲みいし姑の偲ばる
網十西 三木よし子

食用の菜花一輪卓上に
かざして小さき春の先取り
青 山 藤本 澄子

休耕田を鳥が盛んに突きいる
今日は啓蟄暦が記す
高 浜 青山 春子

一人居の河野さんは家の廻りに
季節の花を数多咲かせり
大津茂 小坂田あさ

はやぶさ2の六年間の無事願い
八十路めざして帰り待つ吾
八 幡 藤本 篤子

眠られぬ夜更けに聞きいる深夜便
歌もトークも心にしみる
広畑第二 森下 雄幸

楽しげに四つ葉を見つけ笑う妻
古希はるかなりえくぼがひとつ
水 上 小笠原宣恵

初春の雲もこもこと詰め込んで
ばかりばかりと空に浮きたし
青 山 片山喜栄子

ささやかな幸せでいい二人の娘に
念じておりぬ老いゆくわれは
荒 川 井上テツ子

もち米に煎りし黒豆たき込みて
明けの彼岸の仏に供う
余 部 平山 廣嘉

トーストに果物野菜ハムチーズ
恙なきなり八十八歳
家 島 高濱 娃子

俳句

熟年俳壇 — 投稿

引き潮や岩の溜りも春の息
大 塩 中村 千里
諍ひの一瞬止みて冬の地震
青 山 仁王 春樹
今朝よりは蕾もち上ぐ桜草
別 所 林 昭美
遮断機の上がりて蝶の渡り来し
英賀保 中島 勝之
見かけより袖無し羽織あたたかし
飾磨中島 東 勝美
夫の歩に合はす散歩や風光る
妻 鹿 八十川千恵
寄り添うて土筆顔出す池の土手
別 所 竹内 毅
春光や農継ぐ吾子の背を押す
荒 川 田中 澄子
玻璃越しの冬の日差しを懐に
広 峰 井上 朝子
水仙や父の墓前に三姉妹
香呂南 中務みき子
つくしんば放つておけず手を伸ばす
荒 川 三輪 忠子
寒風のテトラポットに怒濤かな
城 陽 三木 忠典
散歩するいつもの人が霧の中
谷 外 林 庄治
花嫁に出逢ふ弥生の佳き日かな
白 浜 菊地 知子
初座敷食べて笑つて鍋奉行
余 部 山根 義子
春埃先づは目鼻の抵抗す
妻 鹿 篠原 泰子
下萌の生きる力や石の隙
勝 原 井貫ミヤ子

〈選者より〉

今回も佳いお句が沢山ありました。次回募集の句の季題は「夏」です。

すこやか句会 — 趣味の教室

新しき制服吊つて春を待つ
城陽 青山 一蔵
わんぱくの頬に付きたる春の泥
城東 井口 由恵
稽古事一つ増やして老いの春
四郷 伊藤 淳子
横一列野焼開始の太鼓待つ
広峰 井上 志朗
猫と居てつつがなき日や春炬燵
香呂南 江藤かつえ
かへろうよ掛け声幾度土筆摘む
糸引 岡本 清子
春潮の香り満載瀬戸の舟
前之庄 片岡サヨ子
梅が香に立ち止まりつつ綾部山
古知 亀井 榮弘
はしやぐ子等一氣に駆けて春の音
城東 神崎 幸世
窓の雪効能多き湯につかる
城乾 木下 安江
流れ来て流れ去りゆく落葉かな
豊富 久保 善之
浜風や思はず押へ冬帽子
御国野 黒田 耕三
飯蛸の足それぞれに逃げ支度
白浜 小西 敬子

独り居のひとりのおしやれ春帽子

英賀保 坂本 重雄

薄物を出しては戻し春を待つ

安室東 谷岡 芳子

野遊びの独り天下や風のだ

城翼 中島 保

湯屋めぐりや和む城崎春の宵

荒川 中野 妙子

庭先の蕾に語る四温かな

増位 仁上モトエ

山焼きの夜空に著き伽藍かな

御国野 西田 建

玄関にそつと見舞の黄水仙

谷内 橋本和佳子

合唱の美声流るる春館

城西 長谷川泰子

東風くれば船に囓つく白い波

御国野 三木 敏夫

春雨や縁先濡らす音も無し

大津茂 望月 久雄

伝統も革新もよし水温む

飾磨東 山本 禎次

露の臺見つけはじける声若し

東 吉田 孝子

〈選者吟〉大正と記す木箱や雛納め

松岡 洋巨

川柳

熟年川柳 — 投稿

綾部 明美 選
団子よりカラオケに集る花見の座
高岡西 堂浦 勝

チョコレート義理と判れど胸おどる

妻 鹿 篠原 繁明

お前俺名前出にくいクラス会

谷内 西口 紀夫

誕生日何事もなくおでん鍋

南大津 三島 篤子

むかし孫今はテレビといひコンビ

妻 鹿 小澤 恒雄

祝い膳五臓六腑が生き返える

網干 酒井恵美子

老いふたり相手もついでるこはんつぶ

豊富 大西 初美

言い過ぎたと日記帳には書いておく

網干 津田 良子

大天守ちよつと白粉濃いすぎた

別所 井置 善朗

他所で捨て地域で参加塵拾い

助野 椿 安幸

物忘れ言った言わぬのくりかえし

船津 平石 聰子

耕せば走りたくなる大地かな

御国野 中村 仁

句集届き又も意欲が湧いてくる

網干西 丸尾富美子

懐かしい顔ぶれ揃い話し咲く

英賀保 木村 倫代

才能が見当たらず喜寿過ぎる

選者 綾部 明美

荒川同好会

巻き戻し効かぬ人生悔いばかり
北条てる代
ライバルにエール送って医者通い
小林 保子

戻れ無い月日重ねて風に立つ

岸 節子

体調の崩れ易さよ木の芽時

西島 昭郎

立春や芽吹いて来たよ猫柳

中野 博

財布の中札よりカード多くなり

飯塚 秋廣

雑魚でよい雑魚それなりの夢はある

(代表) 中野 忠

川柳『千姫』

迷惑をかけない様に日々生きる
前田 美巳代 選
冗談の中に本年も混ぜておく
谷外 吉田 五郎
無遠慮な和音に私消されてる
城北 美原よしの
またしても神は俎上の鯉試す
曾左 福本 貞子
たどたどし母のちぎり絵白椿
手柄 長谷川妙子
被災者に思いを馳せて湯に浸る
城北 黒田 澄子
追い風に肩の力を抜いて生く
城北 森田みつ子
この寒さ猫より深く背を丸め
水上 田中 怜子
骨量の減った骨までこごえる日
高岡西 梅田 泰三
ばあばあは男の孫にチョコレート
八幡 川崎 怜子
峰相 洪水 京子

6月からの行事予定

平成27年 6月	
1日(月)	機関紙「熟年92号」発行
12日(金)	校区女性幹部代表研修会 友愛訪問品作り
26日(金)	ニューリーダー研修会
8月	
8月～	シルバーヘルパー地域支援活動 研修会（各ブロック）
26日(水)～ 31日(月)	高齢者作品展 （イーグレひめじ市民ギャラリー）
9月	
24日(木)	「米寿・白寿」慶祝記念品贈呈 SPC作戦
30日(水)	ニュースポーツ全市大会
10月	
1日(木)	機関紙「熟年93号」発行
10月～12月	歩こう会（各ブロック）

高齢者作品展

出展作品を募集します

出展資格

満60歳以上の姫路市民

募集作品

洋画、日本画、水墨画、書、陶芸、彫刻、
盆栽、写真、工芸、手芸等
自己創作で未発表の作品。一人一作品。
一人で搬入可能な大きさのもの。

展示期間

8月26日(水)～8月31日(月)

展示場所

イーグレひめじ 市民ギャラリー

申込方法

7月3日(金)までに、ハガキ、ファクスまたはメール
で、部門と作品名(ふりがな)、サイズ、日本画・水
墨画・書は作品の形状(軸・額)の別)、洋画は作品の
号数、手芸は作品の種類、住所、氏名(ふりがな)、
電話番号、8月26日現在の年齢を生きがい推進課
まで。

申込先

〒670-8501
姫路市安田四丁目1番地 生きがい推進課
TEL.221-2986 FAX.221-2045
メール▶ikigai@city.himeji.hyogo.jp

※応募多数の場合は調整させて頂くことがあります。

愛の募金

本年度も愛の募金にご協力下さい
ますようお願い致します。
この貴重な募金は主として次のよう
な活動に活用させていただきます。

- 老人クラブ会員の災害見舞金
- 友愛訪問品づくり
- 特別養護老人ホームや福祉施設の訪問
- 寝たきり・独り暮らし会員の訪問
- シルバーヘルパー養成研修

ある新聞に「バラ」の花が紹介されていま
した。バラにも花が咲くのだと知り、それも
かなり「グロテスク」な花です。
子供の頃バラの葉は、秋祭の「魚鱗」をつ
くる時に、母が使用していた事を懐かしく思
いました。
普通に眺めただけでは、まず見つけられませ
ん。地面すれすれのところで、埋もれるよう
に花を咲かせているのです。先日我が家の庭で
発見し、シャッターチャンスを得ました。
平成二十七年がスタート。皆様方のご協力
を得て、熟年九十二号も発行できました。あり
がとうございました。これからもすばらしい投
稿をお待ちしております。
(広報編集部)

編集後記

投稿規程

- (一) 投稿は会員に限ります。
- (二) 字数は四百字程度でお願いします。
- (三) 内容は提言・随想・近況・グルー
プやクラブの活動など、何でも結
構です。
- (四) 「会員欄」にカラーページを当てて
います。近況報告などに写真があ
れば添えて下さい。
- (五) 必ず校区、氏名、電話番号を記入
して下さい。匿名、イニシャル等
は不可です。
- (六) 編集の都合で添削、割愛または次
号以降に回すことがあります。
- (七) 文芸作品は、葉書に三句(首)以内。
二つ以上の分野への投稿は控えて
下さい。

原稿の送り先

〒670-0943

姫路市市之郷一〇〇六一八

姫路市すこやかセンター内

老人クラブ事務局「熟年」係へ

FAX(079)223-6128

次回締切りは**八月一日**です。

老人クラブ事務局執務時間

午前九時〇〇分より

午後五時〇〇分まで

(日曜・祝日及び水曜日は休日・土曜

日は午前九時より午後三時まで)

『熟年』の原稿を募集します